

PTPシート誤飲事故防止のための 次世代錠剤包装ESOPの開発

3つの解決困難な医療課題

- I、2つの誤飲事故
 - ① PTPシートの誤飲事故
 - ② 子どもによる医薬品の誤飲事故
- II、誤薬事故（調剤過誤）年間1,300件
- III、残薬（475億円の無駄！）

これらの課題を一気に解決できる錠剤包装を開発

次世代錠剤包装「ESOP」 Easy Seal Open Pack

PTP → ESOP

医療課題を解決できる



- ◆ 識別性
 - ◆ 保護性
 - ◆ 開封性
 - ◆ 携帯性
 - ◆ 安全性
- に優れる！

PTPシートの問題点

- 誤飲者は高齢者の割合が高い。
- 誤飲の認識がほとんどなく、腹痛、嘔吐などの症状発現まで、発見されにくい。
- PTPシートはX線の透過性があるため、PTPシートの存在を術前に診断することは困難である。
- 内視鏡による取り出しや手術が必要となり、身体的負担が非常に大きい。



行政の対応策は国民への注意の喚起や業界への周知徹底依頼

誤飲しにくい構造、誤飲させない工夫、誤飲時の傷害軽減などを考える必要があります

PTPシート誤飲事故を根絶します！

ESOP(イソップ)の最大の特長は

PTPシート誤飲事故が**根絶**でき、

そして、**安全性**を高めたことです。

素材は軟包材です。万が一、包装ごと誤飲しても、素材が柔らかいため体内での穿孔リスクがほとんどありません。また、ぜん動運動に合わせ変形し、熱や酸にも強く、体内で溶解せず体外に排出されますので、とても安心です。



CR(チャイルドレジスタンス)&CF(シニアフレンドリー)配慮形態



Seal & Fold 技術(特許出願済)
弱シール部は、開いた状態では簡単に片手で開封できますが、折り畳むと数10kg程度の荷重にも耐えられる新技術です。



- 大人の方には、簡単に片手で薬剤を取り出せますが、
- ✕ 小さなお子様では、すぐには取り出しにくい構造です。

視認性、表示性(識別性)

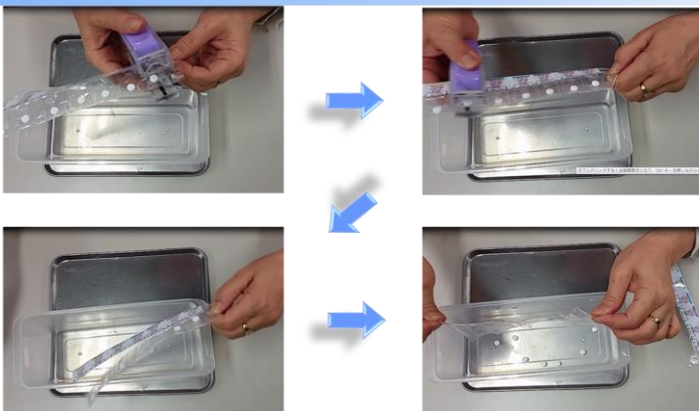
調剤ミス削減と残薬削減効果 大

- ◆ 表示 大きく
- ◆ 1錠単位で表示
- ◆ バーコード



標準化、ルール化目指す

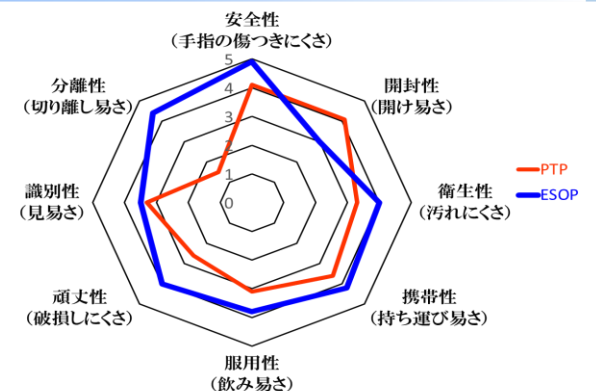
調剤時の取り出しやすさ(ハサミや専用器具で簡単に取り出せる)



使用性評価基準実験

実験内容:
PTPとESOPの使用上での優劣を5段階評価にて検証
被験者:男女各5名
43~80歳

- 5: 良い
- 4: やや良い
- 3: どちらでもない
- 2: やや悪い
- 1: 悪い



株式会社 モリモト医薬 〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島5丁目8-28
お問合せ先: TEL: 0120-600-937 Mail: esop@m-ph.co.jp
ホームページ: <http://www.morimoto-iyaku.jp/>

第8回日本在宅薬学会学術大会
2015年7月19~20日
幕張メッセ国際会議場

- ◆ 日本薬剤学会 第30年回
 - ◆ 日本病院薬剤師会関東ブロック 第44回学術大会
 - ◆ CPhI Japan 2015 (InnoPack Japan コンファレンス)
 - ◆ 日本ジェネリック医薬品学会第9回学術大会
- これらの学会等で発表した内容を整理した資料です